

2025年5月13日

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

【キャンペーン協賛企業募集中！】

ペットボトルキャップの画像や動画をSNSへ投稿するだけで
誰もが気軽に”環境保全”と”子どもワクチン支援”に参加できる
「#キャップアクション」キャンペーンを今年もJCVが開催！

期間：6月1日（日）～6月30日（環境月間）

報道関係者各位

毎年6月は、環境省が定める「環境月間」です。「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下JCV）では、キャップの回収リサイクルを通して、「環境保全」と同時に「子どもワクチン支援」を推進するため、環境月間に合わせて2023年に開始した、SNSへの投稿を通じて気軽にSDGsに貢献できる『#キャップアクション』キャンペーンを今年も開催いたします。ペットボトルキャップの写真に「#キャップアクション」を付けて投稿すると、1投稿につき1人分のワクチンが、途上国の子どもたちに贈られます。2024年は、「Instagram」と「X」を合わせて11,266件もの投稿をいただき、今年は投稿対象に「Threads」にも加え、活動をさらに拡大して参ります。（SNS合計フォロワー6,498人、2025/5/13時点）



つきましては、本キャンペーンにご協賛いただける企業・団体を募集いたします。キャップやリサイクルへの関わりの有無に関わらず、1口1万円からお申し込みいただけます。お預かりしたご協賛金は、キャンペーンを通した子どもワクチン支援に活用いたします。ご協賛いただいた企業さまは、ロゴを特設ページに掲載するほか、今秋に計画している支援国視察において撮影した子ども達の写真をご提供いたします。多くの方のお申し込みをお待ちしております。（お問い合わせはこちら：<https://www.jcv-jp.org/contact/inquiry>）

【キャンペーン詳細】

- 実施期間： 2025年6月1日（日）～6月30日（月）（※環境月間）
- 参加方法： 期間中に「Instagram」、「X」、「Threads」でペットボトルキャップが写った写真や動画に「#キャップアクション」を付けて投稿すると、1投稿につきワクチン1人分が JCV を通して支援国（ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツ）の子ども達に寄付されます。



※1 対象となる写真や動画は、ペットボトルキャップが写っていれば、ペットボトル飲料、キャップ回収の様子、キャップアートなど、何でも問題ありません。

※2 ストーリーズや非公開アカウントによる投稿、公開範囲を制限した投稿は対象外。

【ご協賛・ご協力について】

<ご協賛>

- 1口：1万円 （昨年実績6社／複数口でのご協賛可）

(特典)

- 企業ロゴが入った子ども達のパネルを、支援国視察の際に撮影しご提供。
- 企業ロゴを、特設ページやプレスリリース、SNSへの投稿などに掲載。
- 広報にお使いいただけるデジタルチラシやHP等に掲載できるバナーを配布。
- ご希望に応じ、当会HPやSNSにおいて、御社の支援活動をご紹介。

<タイアップ協力>

●キャンペーン期間中に限定したタイアップ協力

(事例) 期間中、〇〇の販売1点につきポリオワクチン1人分（20円）寄付

期間中、タイアップ協力の売り上げ1点に対する寄付を倍の2人分寄付

(特典) ご協賛企業さまと同様の特典に加え、特設ページでご協力内容をご紹介。

【年々拡大するペットボトルキャップのリサイクル】

ペットボトルキャップは、しっかりと分別・回収することで、とても質の良いプラスチックリサイクル素材（ポリプロピレン、ポリエチレン）を生成できるポテンシャルを秘め、注目されています。近年は、買い物カゴや洗剤のボトルなどの身近な製品から、車やテレビの部品、工業用パレットに至るまで、様々な製品へのリサイクルが進んでいます。

リサイクル素材としての需要が高まる中、JCVにご協力いただくペットボトルキャップの回収・リサイクル事業者も年々増加。現在は全国80社以上、100を超える拠点に、毎日

キャップが持ち込まれています。その数は、推定で年間約13億個にも達し、ポリオワクチン（1人分20円）に換算して、130万人分以上の子どももワクチン支援につながっています。ゴミとして捨てられてしまうことも多いキャップが、数多くの途上国の子ども達を、はしかや破傷風などの感染症から守るために役立っています。



【1日4,000人の子どもたちが予防可能な感染症で亡くなる現実とワクチンの必要性】

ポリオ、結核、百日咳などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日4,000人。20秒に1人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV)は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは1人分20円、高いものでも約280円ととても安価です。私たちはUNICEFや各国の保健省と協力し、1994年の創設以来、1億3,377万3,465人の子どもたちにワクチンを届けてまいりました。

皆さまのご支援により、2024年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国に1億2,348万9,371円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈ることができました。



【JCV 団体概要】

- 団体名：認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- 代表：理事長 斎藤 瞳子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者：細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）
- 本社所在地：東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL：www.jcv-jp.org
- 設立：1994 年 1 月 29 日
- スペシャルスター：
竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（元プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、
三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミクニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機
管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤
優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL : 080-3094-8232 FAX : 03-5419-1082

E-mail : otsu@jcv-jp.org